

令和6年度経営協議会における審議事項

開催日	審 議 事 項 等
(第107回) (書面審議) 4月19日(金)	1. 審議事項 (1) 令和4事業年度目的積立金の使用計画について(案)
(第108回) 6月17日(月)	1. 審議事項 (1) 令和5事業年度決算(案)について (2) 令和7年度概算要求事項(案)について (3) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について (4) 学長選考・監察会議委員の選出について 2. 討議・意見交換事項 (1) 医学部附属病院の経営状況等について (2) 大学病院改革プランについて 3. 報告・連絡・情報交換事項 (1) 令和5年度における部局等の自己点検・評価結果について (2) 令和5年度外部資金の受入状況について (3) 令和6年度入学者状況について (4) 令和5年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について (5) 令和5年度資金運用に係る報告について (6) 令和6年度ガバナンス・コード報告書の作成について (7) 福井大学基金について (8) 令和6年度会計監査人の選任について (9) 令和5年度経営協議会における主な意見に対する対応状況について 4. その他 (1) 本学の取組みに関する最近の記事について
(第109回) (書面審議) 7月22日(月)	1. 審議事項 (1) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について (2) 目的積立金の使用計画について(案)
(第110回) 10月10日(木)	1. 審議事項 (1) 国立大学法人福井大学ガバナンス・コードの公表について (2) 福井大学大学院学則等の一部改正(案)について 2. 討議・意見交換事項 (1) 医学部附属病院の経営状況等について 3. 報告・連絡・情報交換事項 (1) 令和6年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価結果について (2) 令和6年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価結果について (3) 令和6年度上半期資金運用に係る報告について 4. その他 (1) 本学の取組みに関する最近の記事について (2) 大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)の設置について
(第111回) (書面審議) 11月11日(月)	1. 審議事項 (1) 令和6年度福井大学収入支出予算の見直しについて(案) (2) 国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正(案)について (3) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について

(第 112 回) 1 月 27 日 (月)	1. 審議事項 (1) 職員宿舎(乾徳)跡地について (2) 中期計画の変更(案)について 2. 討議事項 (1) 医学部附属病院の経営状況等について 3. 報告・連絡事項 (1) 令和7年度政府予算等内示の概要について 4. その他 (1) 本学の取組みに関する最近の記事について
(第 113 回) 3 月 14 日 (金)	1. 審議事項 (1) 退職手当に係る業績の勘案について (2) 役員の本給について (3) 福井大学学則等の一部改正(案)について (4) 国立大学法人福井大学法人規則等の一部改正等(案)について (5) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について (6) 国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正(案)について (7) 国立大学法人福井大学におけるベンチャー企業を対象とした収益を伴う事業の対価として取得する株式等取扱規程等の制定等(案)について (8) 福井大学における間接経費等の取扱い要項の一部改正(案)について (9) 令和8年度施設整備費概算要求について(案) (10) 令和7年度学内予算配分(案)について (11) 令和7年度長期借入金および償還計画にかかる認可申請(案)について 2. 討議事項 (1) 医学部附属病院の経営状況等について 3. 報告・連絡事項 (1) 令和7年度の運営体制について 4. その他 (1) 本学の取組みに関する最近の記事について

第107回国立大学法人福井大学経営協議会書面審議議事要旨

発送 令和6年4月19日（金）

承認 令和6年4月26日（金）

（学外委員 9名） 伊藤正一、江守康昌、川田達男、小松弥生、笹田昌孝、林雅則、
鈴木寛、藤林康久、鷺頭美央

（学内委員 7名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、永井二郎、
内木宏延

審議事項

1. 令和4事業年度目的積立金の使用計画について（案）

資料に基づき、書面審議した結果、原案のとおり了承された。

第108回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 令和6年6月17日（月）13：30～15：20

場 所 福井大学本部棟2階 会議室（文京キャンパス）

出席者（※はWebにて出席）

（学外委員 6名） 川田達男、小松弥生、笹田昌孝、鈴木寛※、林雅則、藤林康久

（学内委員 7名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、永井二郎、
内木宏延

欠席者 伊藤正一、江守康昌、鷺頭美央

陪席者 峠岡監事、佐野監事、澁谷教育学部長、藤枝医学部長、明石工学部長、
岡崎国際地域学部長、月原国際地域マネジメント研究科長、
木村連合教職開発研究科長、窪田参与、花島参与及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員16名のところ、13名の出席により定足数を満たしていることが確認された。（定足数：委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条）

2. 本学のトピックスについて

議題に先立ち、学長から、席上配付資料に基づき以下の事項について報告があった。

- ・福大プラットフォームについて
- ・令和6年度文部科学省寄附フォーラムについて

3. 第106回及び第107回会議議事要旨の確認について

学長から、第106回会議議事要旨及び第107回会議（書面審議）議事要旨について確認があり、了承された。

4. 審議事項

（1）令和5事業年度決算（案）について

財務部長から、資料1に基づき、令和5事業年度決算（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

（2）令和7年度概算要求事項（案）について

理事（研究、産学・社会連携、ダイバーシティ担当）から、資料2に基づき、令和7年度概算要求事項（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

—主な意見—

（○学外委員、□学内委員意見。以下同じ）

- 学生を社会的・経済的に自立した人間に育てるためには、将来を見据えて、在学中にリサーチマインドを身につけさせることが重要である。概算要求の内容を遂行することでどのような結果が期待できるか、「到達度」を明示することが望ましい。

(3) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について

理事（企画戦略担当）及び総務部人事労務課長から、資料3に基づき、国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

(4) 学長選考・監察会議委員の選出について

学長から、資料4に基づき、学長選考・監察会議委員の選出について説明があり、林委員が選出された。

5. 討議事項

(1) 医学部附属病院の経営状況等について

副学長（医療担当）から、資料5に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

(2) 大学病院改革プランについて

副学長（医療担当）から、資料6に基づき、大学病院改革プランについて説明があった。

6. 報告・連絡・情報交換事項

(1) 令和5年度における部局等の自己点検・評価結果について

理事（教育，評価担当）から、資料7に基づき、令和5年度における部局等の自己点検・評価結果について報告があった。

(2) 令和5年度外部資金の受入状況について

理事（研究，産学・社会連携，ダイバーシティ担当）から、資料8に基づき、令和5年度外部資金の受入状況について報告があった。

(3) 令和6年度入学者状況について

理事（教育，評価担当）から、資料9に基づき、令和6年度入学者状況について報告があった。

—主な意見—

- ☐ リケジョ等、女子学生の動向に注目している。県内出身者で大学院に進学する女子学生等については分析しているか。
- ☐ 詳細な分析はしていないが、リケジョの募集に注力するだけでなく、その後のキャリアパスをしっかりと示すことが必要であるため、女子学生の動向については改めて調査していく。
- ☐ 新幹線の効果により関東圏等とのアクセスが便利になった。この効果がプラスに働けば良いが、マイナスに働かないか少し心配である。
- ☐ 隔年現象による昨年度の倍率の低さが影響したのか、今年度の志願者は増加した。また医学部医学科においては、関東地方からの志願者が多かったことから、新幹線効果

がプラスに働いていることが推測できる。来年は隔年現象により志願者の倍率が下がると思われるため、引き続き新幹線効果がどのように影響するか見ていきたい。

- 科研費の採択状況と、入学者・志願者状況との間に、何らかの繋がりはないか。また、福井大学の卒業生を、将来科研費をとれるような教員に育てるという目線で、今の受験生を長期的に見ることはできないか。
- 工学部では、入学直後に数学のプレースメントテストを実施し、入学生の学力について分析している。今後、このような成績分布や学生の出身地が大学院進学等にどのように関係しているか、長期的に分析していきたい。

(4) 令和5年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について

理事（教育、評価担当）から、資料10に基づき、令和5年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について報告があった。

(5) 令和5年度資金運用に係る報告について

財務部長から、資料11に基づき、令和5年度資金運用に係る報告について報告があった。

(6) 令和6年度ガバナンス・コード報告書の作成について

総務部長から、資料12に基づき、令和6年度ガバナンス・コード報告書の作成について説明及び依頼があった。

(7) 福井大学基金について

学長から、資料13に基づき、福井大学基金について報告があった。

(8) 令和6年度会計監査人の選任について

学長から、資料14に基づき、令和6年度会計監査人の選任について報告があった。

(9) 令和5年度経営協議会における主な意見に対する対応状況について

学長から、資料15に基づき、令和5年度経営協議会における主な意見に対する対応状況について報告があった。

(10) 本学の取組みに関する最近の記事について

学長から、資料16の記事について、案内があった。

7. その他

(1) その他

学長から、委員に対し、全体を通しての意見聴取があった。

8. 閉会

学長から謝辞が述べられ、次会開催日（10月10日（木））の案内があり、閉会した。

第109回国立大学法人福井大学経営協議会書面審議議事要旨

発送 令和6年7月22日（月）

承認 令和6年7月30日（火）

（学外委員 9名） 伊藤正一、江守康昌、川田達男、小松弥生、笹田昌孝、鈴木寛、
林雅則、藤林康久、鷺頭美央

（学内委員 7名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、永井二郎、
内木宏延

審議事項

1. 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について
2. 目的積立金の使用計画について（案）

資料に基づき、書面審議した結果、原案のとおり了承された。

（主な意見）

事務用電子計算機システムの更新時期等についてはシステム導入時よりわかっていたことであるが、当初より目的積立金を使用する予定でいたのか。目的積立金の使途項目「本学の管理運営上緊急に対応する必要があるもの」にあたるとされているが、管理運営上不可欠なものであるなら、更新費用を予算化しておくべきである。

第110回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 令和6年10月10日（木） 13:30～14:50

場 所 福井大学本部棟2階 会議室（文京キャンパス）

出席者（※はWebにて出席）

（学外委員 7名） 伊藤正一、川田達男、小松弥生、鈴木寛※、林雅則、藤林康久、
鷲頭美央

（学内委員 7名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、永井二郎、
内木宏延

欠席者 江守康昌、笹田昌孝

陪席者 峠岡監事、佐野監事、澁谷教育学部長、藤枝医学部長、
岡崎国際地域学部長、木村連合教職開発研究科長、
窪田参与、花島参与及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員16名のところ、14名の出席により定足数を満たしていることが確認された。（定足数：委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条）

2. 本学のトピックスについて

議題に先立ち、学長から、席上配付資料に基づき以下の事項について報告があった。

- ・国立大学における就職率17年連続第1位達成について
- ・福井大学工学部創立100周年記念大会について
- ・福井大学校友会設立総会について

3. 第108回及び第109回会議議事要旨の確認について

学長から、第108回会議議事要旨及び第109回会議（書面審議）議事要旨について確認があり、了承された。

4. 審議事項

（1）国立大学法人福井大学ガバナンス・コードの公表について

学長から、資料1に基づき、国立大学法人福井大学ガバナンス・コード報告書について説明があり、今後の修正等については学長に一任することです承された。

（2）福井大学大学院学則等の一部改正（案）について

総務部工学系運営管理課長から、資料2に基づき、福井大学大学院学則等の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

—主な意見—

（○学外委員、□学内委員意見。以下同じ）

- 令和6年度の入学者状況を見ると、産業創成工学専攻や知識社会基礎工学専攻は定員の確保について対応が必要と考えられるが、工学研究科では、学内及び学外の学部生を確保するためにどのような対策をとっているか。

- 工学研究科に進学する学生の大半が本学の学部生であるが、Web 等を通じた広報活動により、その他近隣大学からの進学者もいる。また、留学生については、国際的に宣伝をして確保に努めている。
- 高等専門学校の特攻科の学生は学部卒に相当するため、福井工業高等専門学校等、近隣の高等専門学校にも声をかけている。

5. 討議事項

(1) 医学部附属病院の経営状況等について

副学長（医療担当）から、資料3に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

—主な意見—

- 医療情報システムは本学の強みでもあるが、厚生労働省による視察及び意見交換会において、何か良い評価を受けたか。
- 本院では、大学病院の中で唯一クラウド化し、電子カルテシステムを使用している。本院のような規模の大きな病院でもクラウド化をして運用できることを知っていただけたほか、災害時においても衛星回線を介して利用することができるため、災害時に強い運用方法の一つとして関心を持っていただけた。
- ICUの施設基準が下位基準になった理由はなにか。また、どのように対応していくのか。
- 以前まではICU・NICUにて勤務するうち、実際に医療行為を行っている時間のみ勤務時間として算定していたが、診療報酬改定により、施設基準の内容が変更され、ICU・NICUにいる全ての時間を勤務時間として算定しなければいけなくなった。ICU・NICUに多数の医師が配置されている医療機関であれば交代勤務にすることで対応できるが、本院では交代勤務を組めるだけの人員を配置できておらず、最上位の基準を取得することができない状況となった。これらの対応策として、各診療科への協力依頼を行い、新しい施設基準に対応した院内体制を構築することで、最上位基準を再取得できることとなった。

6. 報告・連絡・情報交換事項

(1) 令和6年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価結果について

理事（教育、評価担当）から、資料4に基づき、令和6年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価結果について報告があった。

—主な意見—

- 「授業外学修時間」が2年連続で評価基準等を満たしていないとされているが、どのような改善策を講じているのか。
- 第3期中期目標・中期計画では、授業外学修時間を1.5倍に増加させることを目標とし、授業外の学修に関する指導を手厚く行う等、力を入れて対策を行ったことで、結果として目標値を達成することができた。第4期では授業外学修時間の増加を目標に設定していないこともあり、評価基準を満たしていない状況が続いているが、また上がっていくように対策を検討しているところである。
- 学生に対してレポートの習慣をつけさせるのも効果的ではないか。

(2) 令和6年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価結果について

理事(教育, 評価担当)から、資料5に基づき、令和6年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価結果について報告があった。

—主な意見—

- 工学部では総合型選抜の募集人員の拡大及び女子学生の推薦枠を設ける等の取組をしているが、県内からの進学者や女子学生の確保という観点からは、評価指標等は設けられていないのか。また、就職率について、県外を含めた全体の就職率は高いが、県内就職率の観点から見ると3割程度低下している。県内就職率に関しても、評価指標を設定すること等は検討しているか。
- 県内入学者数については、第4期の中期目標・中期計画においては評価指標として挙げていない。県内志願者増に繋がる取組として、高大接続教育、特に探究活動への協力等を盛んに実施しており、これらを第4期の評価指標とすることで、県内入学者数増加への間接的な評価指標となっている。また、就職率についても、全体の就職率が上がれば県内就職率もある程度維持できるため、県内就職率向上への間接的な評価指標となっている。
- 学生に県内就職してもらうためには、県内の産業界や自治体、ベンチャー企業等が協働して企業誘致等を行い、能力が高い学生にとっての良い就職先を作ることが重要である。まずは戦略を立てた上で、それにふさわしい評価指標を設定するとよい。

(3) 令和6年度上半期資金運用に係る報告について

財務部長から、資料6に基づき、令和6年度資金運用について報告があった。

(4) 本学の取組みに関する最近の記事について

学長から、資料7の記事について、案内があった。

7. その他

(1) その他

学長から、委員に対し、全体を通しての意見聴取があった。

(2) 大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)の設置について

学長から、大学院医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)(入学定員3名)の令和7年度設置を「可」とする回答が文科省からあったことについて報告があった。

8. 閉会

学長から謝辞が述べられ、次会開催日(1月27日(月))の案内があり、閉会した。

第111回国立大学法人福井大学経営協議会書面審議議事要旨

発送 令和6年11月11日（月）

承認 令和6年11月18日（月）

（学外委員 9名） 伊藤正一、江守康昌、川田達男、小松弥生、笹田昌孝、鈴木寛、
林雅則、藤林康久、鷲頭美央

（学内委員 7名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、永井二郎、
内木宏延

審議事項

1. 令和6年度福井大学収入支出予算の見通しについて（案）
2. 国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正（案）について
3. 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について

資料に基づき、書面審議した結果、原案のとおり了承された。

第112回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 令和7年1月27日（月）13：30～14：40

場 所 福井大学本部棟2階 会議室（文京キャンパス）

出席者（※はWebにて出席）

（学外委員 5名） 伊藤正一、小松弥生※、鈴木寛※、林雅則、藤林康久

（学内委員 6名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、内木宏延

欠席者 江守康昌、川田達男、笹田昌孝、鷲頭美央、永井二郎

陪席者 峠岡監事、佐野監事、澁谷教育学部長、藤枝医学部長、
岡崎国際地域学部長、木村連合教職開発研究科長、
窪田参与、花島参与及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員16名のところ、11名の出席により定足数を満たしていることが確認された。（定足数：委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条）

2. 本学のトピックスについて

議題に先立ち、学長から、席上配付資料に基づき以下の事項について報告があった。

- ・工学部創立100周年記念館お披露目会の開催について
- ・学生交流スペース「木立ちの広場」オープン記念式典の挙行について

3. 第110回及び第111回会議議事要旨の確認について

学長から、第110回会議議事要旨及び第111回会議（書面審議）議事要旨について確認があり、了承された。

4. 審議事項

（1）職員宿舍（乾徳）跡地について

財務部長から、資料1に基づき、職員宿舍（乾徳）跡地について説明があり、審議の結果、了承された。

（2）中期計画の変更（案）について

理事（企画戦略担当）から、資料2に基づき、中期計画の変更（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

5. 討議事項

（1）医学部附属病院の経営状況等について

副学長（医療担当）から、資料3に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

—主な意見—

（○学外委員、□学内委員意見。以下同じ）

- 国立大学附属病院の収入は、全国的に赤字が増えており厳しい状態であると思うが、福井大学医学部附属病院の収入は、減ってはいるものの黒字でとどまっている。国立大学附属病院の中では良い方ということか。

- 国立大学附属病院の中で見ると、中間あたりに位置づけられる。本院の収入はキャッシュベースでは黒字となっているが、経常収益を見るとかなり厳しい状況である。全国的にも、人件費、医薬品費、医療材料費等の高騰を受け、多くの病院が赤字に傾いている。
- 福井大学医学部附属病院では、電子カルテシステムを導入し、クラウド化をして運用しているが、DX化やAIホスピタルについては今後どのような取り組みをしていくか。
- DX化については、まずは電子処方箋の導入を検討している。AIホスピタルについては、AIによる診断の導入を検討したものの、精度が低く、採用には至っていない。今後導入する際には、投資に見合うだけの性能を持ち合わせているかを見極める必要がある。

6. 報告・連絡・情報交換事項

(1) 令和7年度政府予算案等内示の概要について

理事（研究、産学・社会連携、ダイバーシティ担当）から、資料4に基づき、令和7年度政府予算案等内示の概要について報告があった。

(2) 本学の取組みに関する最近の記事について

学長から、資料5の記事について、案内があった。

—主な意見—

- 「福井型教育の国際的な展開」については福井大学の特色ともいえるが、来年度どのような形で拡充されていくのか。また、この事業は大学経営に貢献しているのか。
- 本学は、国立大学の中でも最も力を入れて国際的な取り組みをしている。これに対する評価も高く、今後はより大きな規模で取り組みたい。

7. その他

(1) その他

学長から、委員に対し、全体を通しての意見聴取があった。

—主な意見—

- 教員のなり手不足について、福井県全体を見ても非常に厳しい状況である。世の中には教員免許を有しているものの教職に就いていない「ペーパーティーチャー」が多くいるが、これについて、大学としてどのように考えているか。
- 福井県において、大学3年時から教員採用試験の第一次選考を受験できるようになったことにより、本学においても学生が受験に対して意欲的になっており、今年は県内・県外を合わせて7割近くの学生が採用試験を受験するのではないかと見込んでいる。この時代でも教育学部を選んで入学してくれる入学生を大事にしていきたい。
- 教員不足は日本だけではなく世界的な傾向であり、給与が低いことが大きな要因である。このような状況下でも優秀な人材を輩出し続けることが非常に重要である。

8. 閉会

学長から謝辞が述べられ、次回開催日（3月14日（金））の案内があり、閉会した。

第113回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 令和7年3月14日（金）13：30～15：15

場 所 福井大学本部棟2階 会議室（文京キャンパス）

出席者（※はWebにて出席）

（学外委員 5名） 伊藤正一、小松弥生※、笹田昌孝※、林雅則、藤林康久

（学内委員 6名） 上田孝典、安田年博、末信一朗、松木健一、大嶋勇成、内木宏延

欠席者 江守康昌、川田達男、鈴木寛、鷲頭美央、永井二郎

陪席者 峠岡監事、佐野監事、澁谷教育学部長、藤枝医学部長、明石工学部長、
岡崎国際地域学部長、窪田参与、花島参与及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員16名のところ、11名の出席により定足数を満たしていることが確認された。（定足数：委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条）

2. 本学のトピックスについて

議題に先立ち、学長から、席上配付資料に基づき以下の事項について報告があった。

- ・「ソニー子ども科学教育プログラム」教育実践論文最優秀校選出について
- ・福井県科学学術大賞受賞について

3. 第112回会議議事要旨の確認について

学長から、第112回会議議事要旨について確認があり、了承された。

4. 審議事項

（1）退職手当に係る業績の勘案について

理事（教育・評価担当）から、当日配付資料1に基づき学長の退職手当に係る業績の勘案について説明があり、審議の結果、了承された。次いで、学長から、当日配付資料1に基づき、理事の退職手当に係る業績の勘案について説明後、了承された。

（2）役員の本給について

学長から、当日配付資料2に基づき、役員の本給について説明があり、審議の結果、了承された。

（3）福井大学学則等の一部改正（案）について

総務部長から、資料1に基づき、福井大学学則等の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

- (4) 国立大学法人福井大学法人規則等の一部改正等（案）について
副学長（学部・院連携，松岡キャンパス将来計画担当）から、資料2に基づき、国立大学法人福井大学法人規則等の一部改正等（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (5) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について
総務部人事労務課長から、資料3に基づき、国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (6) 国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正（案）について
総務部人事労務課長から、資料4に基づき、国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (7) 国立大学法人福井大学におけるベンチャー企業を対象とした収益を伴う事業の対価として取得する株式等取扱規程等の制定等（案）について
理事（研究，産学・社会連携，ダイバーシティ担当）から、資料5に基づき、国立大学法人福井大学におけるベンチャー企業を対象とした収益を伴う事業の対価として取得する株式等取扱規程等の制定等（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (8) 福井大学における間接経費等の取扱い要項の一部改正（案）について
理事（研究，産学・社会連携，ダイバーシティ担当）から、資料6に基づき、福井大学における間接経費等の取扱い要項の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (9) 令和8年度施設整備費概算要求について（案）
理事（研究，産学・社会連携，ダイバーシティ担当）から、資料7に基づき、令和8年度施設整備費概算要求（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (10) 令和7年度学内予算配分（案）について
理事（研究，産学・社会連携，ダイバーシティ担当）から、資料8に基づき、令和7年度学内予算配分（案）について説明があり、審議の結果、了承された。
- (11) 令和7年度長期借入金および償還計画にかかる認可申請（案）について
理事（研究，産学・社会連携，ダイバーシティ担当）から、資料9に基づき、令和7年度長期借入金および償還計画にかかる認可申請（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

5. 討議事項

(1) 医学部附属病院の経営状況等について

副学長（医療担当）から、資料 10 に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

—主な意見—

（○学外委員、□学内委員意見。以下同じ）

- 研修医の人数は、他大学、他府県と比較してどのような状況か。
- 県内全体における研修医の数は増えているが、本院における研修医の総数は昨年とほぼ同じであり、他大学、他府県と比較すると、非常に厳しい状況である。地方の大学病院よりも市中病院の方が勤務環境や給与が高水準であることや、地方の大学は元々人材不足ということもあり、かなり苦戦している。

6. 報告・連絡事項

(1) 令和 7 年度の運営体制について

次期学長予定者から、資料 11 に基づき、令和 7 年度の運営体制について報告があった。

7. その他

(1) その他

学長から、委員に対し、全体を通しての意見聴取があった。

—主な意見—

- 会議等を減らすことで生まれた時間を、学外とのコミュニケーションの時間に費やしてほしい。学内の民主的なプロセスも重要であるが、加えて、研究や外部との繋がりなどに力を注げるようなシステムを構築できるとよい。また、経営協議会では、規程改正や計数的な事項のみならず、将来に向けた審議ができるとよい。
- 国立大学法人は、人事院勧告や定年延長にかなり大きな影響を受けている。これらにより人件費が膨らみ、厳しい状況となっていることを、更に声を上げてアピールしても良いのではないか。また、運営費交付金が減っていく中、法人としてどのように収入を得るか、真剣に考えていく必要がある。他機関では、研究者の知的貢献度を加味して、共同研究の相手方企業から知的貢献費を獲得している例もある。
- 改革路線の中で、変わらないことが大学の良さでもある。一方で、このような大学の魅力をどのようにアピールしていくかが課題である。大学としての新しい魅せ方を追求してほしい。

8. 閉会

最後に学長から、3 月をもって今期委員任期が終了するため、委員を務めていただいたことに対する謝辞が述べられた後、今期をもって退任する委員から挨拶があった。次回開催については、調整の上、後日連絡する旨案内し、閉会した。